

天皇杯 第29回都道府県対抗男子駅伝競走大会
皇后杯 第42回都道府県対抗女子駅伝競走大会
選手選考要項

(一財)福井陸上競技協会 強化委員会

○男子駅伝出場条件

(1) 出場資格

- ① 競技者は、日本陸上競技連盟の令和5年度登録者で、2010年4月1日以前に生まれた日本国籍を有する男子競技者であること。但し、在留外国人競技者のうち日本で生まれ、引き続き現在も日本国内に生活の拠点を有する者は出場できる。
- ② 社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。なお、出身中学校と出身高等学校県が異なる場合は、出身中学校もしくは出身高等学校のどちらの所在地都道府県からも出場することができる。

(2) チーム編成

- ① チームは監督1名、コーチ2名、競技者10名の合計13名とする。
- ② 競技者にはジュニアA 3名以上、ジュニアB 2名以上が含まれること。
 - ジュニアAとは2005年4月2日～2008年4月1日に生まれた競技者をいう。
 - ジュニアBとは2008年4月2日～2010年4月1日に生まれた競技者をいう。
 - ※中学1年生は出場できない。
 - ※ジュニアAおよびBの競技者は保護者の出場承諾書を必要とする。

(3) 競技規定

第2・6区はジュニアB競技者を、第1・4・5区はジュニアA競技者を、第3・7区は社会人(大学生を含む競技者を起用することとする。また、ふるさと競技者は1区間以内とする。

○女子駅伝出場条件

(1) 出場資格

- ① 競技者は、日本陸上競技連盟の2023年度登録者で、2010年4月1日以前に生まれた日本国籍を有する女子競技者であること。ただし、外国籍者のうち日本で生まれ育った者で、引き続き現在も日本国内に生活の拠点を有する者はこの限りではない。
- ② 社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。なお、出身中学校と出身高等学校県が異なる場合は、出身中学校もしくは出身高等学校のどちらの所在地都道府県からも出場することができる。(これを「ふるさと競技者」と呼ぶ)

(2) チーム編成

- ① チームは監督1名、コーチ2名、競技者13名の合計16名とする。
- ② 競技者にはジュニアA 4名以上、ジュニアB 3名以上が含まれること。
 - ジュニアAとは2005年4月2日～2008年4月1日に生まれた競技者をいう。
 - ジュニアBとは2008年4月2日～2010年4月1日に生まれた競技者をいう。
 - ※中学1年生は出場できない。
 - ※ジュニアA・Bの競技者は保護者の出場承諾書を必要とする。

(3) 競技規定

競技者の起用については、第3・8区にジュニアB競技者を、その他の区間にジュニアA競技者を最低3名起用すること。また、「ふるさと競技者」は2区間以内とする。

○男女の区間配置

男子		女子	
1区7.0km	高校生	1区6.0 km	一般・高校生
2区3.0km	中学生	2区4.0 km	一般・高校生
3区8.5km	一般	3区3.0 km	中学生
4区5.0km	高校生	4区4.0 km	一般・高校生
5区8.5km	高校生	5区4.1075km	一般・高校生
6区3.0km	中学生	6区4.0875km	一般・高校生
7区13.0km	一般	7区4.0km	一般・高校生
	補欠中学生	8区3.0km	中学生
	補欠高校生	9区10.0km	一般・高校生
	補欠一般		補欠中学生
			補欠高校生
			補欠一般・高校生・中学生
			補欠一般・高校生

〈男子〉

注1) 区間により区分が決められている。補欠も各区分より1名ずつ選出。

〈女子〉

注1) 中学生は区間(3区と8区)が決められている。補欠も1~2名選出(育成も考えて)。

注2) 高校生は最低3名の起用が決められている。補欠も最低1名選出。

注3) 残り4名は一般・高校生から起用して正式オーダーを決定する。

3 選考競技会

〈一般・高校・中学生 共通〉

- 福井陸上競技選手権大会
- 国民体育大会
- 各種公式競技会・記録会・駅伝競走大会

〈一般〉

- 日本陸上競技選手権大会
- 日本陸連主催大会
- 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
- 各地区実業団対抗陸上競技選手権大会
- 日本学生陸上競技個人選手権大会
- 各地区学生陸上競技選手権大会
- 北陸地域陸上競技選手権大会

〈高校生〉

- 全国高等学校駅伝競走大会福井県予選会
- 福井県高等学校陸上競技対校選手権大会
- 北信越高等学校陸上競技対校選手権大会
- 全国高等学校陸上競技対校選手権大会
- 福井県高等学校新人陸上競技大会
- 北信越高等学校新人陸上競技大会
- 福井県高校駅伝競走大会
- 北信越高校駅伝競走大会

〈中学生〉

- 福井県中学校春季陸上競技大会
- 全日本中学校通信陸上競技福井県大会
- 北信越中学校陸上競技選手権大会
- 全国中学校陸上競技選手権大会
- 福井県中学校駅伝競走大会
- 北信越中学校駅伝競走大会

4 選考基準記録(R5.4.1.~R5.11.25)

◎中学男子	3000m	8'55"00
◎中学女子	3000m	10'00"00
	1500m	4'40"00
◎高校男子	5000m	14'25"00
◎高校女子	3000m	9'40"00
◎一般男子	10000m	28'50"00
◎一般女子	5000m	15'55"00

5 選手選考条件

- ・福井県代表選手として、心身ともに健全な選手を選考する。
- ・選考基準記録を突破した選手を内定とする。突破した選手が複数いる場合には、記録や実績などを考慮して選考する。
- ・選考基準記録突破者が規定人数に満たない場合は、選考会となっている大会や駅伝での成績や記録を考慮して選考する。
- ・本大会までの練習会、合宿、試合までの練習、本大会の選手選考については、全てスタッフに一任する。

6 選手選考

選考競技会の結果を参考に、原案を強化部で練る。(一財)福井陸上競技協会理事会後に正式決定、所属長または、本人宛に内定通知を行う。辞退する者は速やかに申し出ること。

7 確認事項

- ① 内定後は、都道府県駅伝大会を最優先大会とし、本大会に向けてしっかり調整すること。
- ② 県内の選手は、駅伝強化部が主催する練習会、合宿に必ず参加すること。参加しない場合は、内定を取り消す場合もある。
- ③ 本大会までに故障等により競技力を発揮できない事態が生じた場合は、内定を取り消す場合もある。
- ④ 選考基準記録の有効期間は2023年4月1日から、11月25日(土)の秋季長距離記録会までとする。

8 選手決定後の強化練習会や強化合宿について

- ・12月の代表・強化選手の決定後から大会終了まで(12月から1月中旬)に強化練習会や強化合宿を計画する。詳細は代表・強化選手が決定後に周知する。